



小坂町新町制施行 70周年記念式典

11月2日、交流センター・セバーム
において、新町制施行70周年記念式
典が挙行されました。

式典で町長は、鉱山町として栄え
た町の歴史を振り返った後、昭和、
平成、そして令和の主要施策や出来
事に触れながら、近年の町の姿を紹
介。「現在のまちや暮らしの中に共有
財産として受け継がれている『ひと』
『自然』『文化』の様々な魅力を、地

域の個性としてまちの発展に生かし、
町民と共有しながら『これからも住み
続けたい』という誇りとして未来へ継
承していくために、住む人が愛着を
持ち、訪れる人が感動するまちづくり
に、引き続き努めたい」とさらなる
飛躍へ決意を新たにしました。

続いて、目時重雄議会議長が「取
り巻く環境は人口減少、少子高齢
化など大きく変化している。この町
に生活する全ての人が夢を思い描
き、語り合える魅力的で人にやさし
い町であり続けられるよう、努力し
たい」といさつを述べました。

この後、地方自治、教育文化、
福祉、消防など各分野において町勢
の発展に多大な貢献をされた8名の
方々を表彰し、1団体へ感謝状を贈
呈しました。

【表彰者】（※敬称略・順不同）

地方自治 亀田 利美 成田 直人

栗山 忠三 椿谷 竹治

教育文化 三澤 つせ
福 祉 金澤 弘子

感 謝 状 和田 隆悦

小坂鉄道保存会

中学生2名 「町づくりに貢献」 「町を支える一員に」

小坂中学校3年の木村奈那巳さ
ん、高橋月陽さんが記念作文を
堂々と発表しました。

木村さんは「小坂町の魅力発信
に携わって」と題して、町の発展

と活性化を目指した学習を紹介。

「今後も自然豊かで伝統あふれる

町の魅力を発信する活動を継続
し、未来の明るい町づくりに貢献
できるよう力を尽くしたい」と意

気込みました。

一方、高橋さんは「小坂町を守
りたい」と題して思いを伝えまし
た。「小坂町を守るためにできるこ
とは、町民一人一人の行動から始
まる。これから先も町を支える一

員として自分にできることを考
え、地道に行動したい」と力強く
誓いました。



「広報こさか」は、毎月10日の発行日に自治会に届けているため、皆さんのお手元に届くまでに若干の日数を要すること
があります。ご迷惑をおかけしますが、ご了承くださるようお願いいたします。

広報こさか [No.1195] 2025年(令和7年)12月号 (毎月10日発行)

■編集・発行/小坂町役場総務課 (〒017-0292 秋田県鹿角郡小坂町小坂字上谷地41番地1 TEL 0186-29-3901 FAX 0186-29-5481)
■町のホームページ <https://www.town.kosaka.akita.jp/> ■Eメール koho-kosaka@town.kosaka.akita.jp